

## 1 部の使命

私たち教育部は、ふるさと養父市の未来を担う子どもたちをど真ん中に捉え、全ての市民にとって、学びのあふれる教育環境を地域総がかりでつくる教育の実現を目指し、学ぶ楽しみ・育てる喜びを感じられるよう、「生きる力」を育む0歳からの一貫した教育環境を、全職員が個々の能力を出し合い、市民と共に創ります。

## 2 部の経営方針

【価値】 更なる独自性のある政策展開

【人材】 人材育成（専門職含む）

【財政】 安定的な財源の確保

### （経営の仕組みに関する取組内容）

【市民】 市民からの信頼度のさらなる向上

- ・エビデンスに基づいた事業計画立案

【経営】 教育、子育て環境の格差是正

- ・家庭環境や社会環境による影響を受けず、子どもたちの学びたい意欲や夢に向かって頑張ろうとする意欲を支える学びの場を創出する。
- ・市の将来像を描き、実現するための道筋を組み立て取り組む思考力と実行力を養う（バックキャストイング）。

【計画】 施設の計画的な維持管理の推進

- ・事業の実施に当たり、年度当初に事業ごとのスケジュールや取組事項を表にまとめ、部内会議で情報を共有し、スケジュール感をもって事業に取り組んで行く。

【政策】 デジタル社会に向けた取り組みの充実

- ・ICT機器の積極的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に取り組む。

【協働】 市民協働による地域力の拡大

- ・地域とともにある魅力と特色ある学校づくり

【改善】 前例踏襲の打破

- ・役割を果たした事業の見直しや再構築、事務処理手順の見直しなどに取り組む。

## 3 部の経営体制

【所管課及び人員（学校園所は除く）】

- ・教育課 課長1、((兼)副課長1)、主幹1、主査1、主事1 計4人
- ・こども学び課 次長兼課長 1、専任課長1、主幹2、主査1、会計年度7人 計12人
- ・100年のまなび共創課 課長1、主幹1、主査1、会計年度3 計6人
- ・歴史文化財課 課長1、副主幹1、主事1、会計年度2 計5人
- ・学校給食センター 所長1、主査1、調理員5、会計年度18人

【R7 予算】

教育部5課（所） 予算総額 2,168,968千円

#### 4 重要経営課題

- ・まちの根幹を成す 心豊かで自立する人づくり
- ・学びがあふれる教育環境づくり

#### 5 部の重要政策の取組内容

##### 【教育課】

小・中学校施設整備事業（学校施設等長寿命化対策事業）	401,994千円
中学校施設整備事業（屋内運動場空調設備整備事業）	150,000千円
公立認定こども園等運営事業（医療的ケア児支援事業）	3,659千円

##### 【こども学び課】

小・中学校教育振興事業（不登校児童生徒支援員配置事業）	7,806千円
部活動推進事業（部活動地域移行体制整備事業）	3,170千円

##### 【歴史文化財課】

記念館管理事業（青谿書院整備事業）	29,938千円
-------------------	----------

#### 6 部の経営目標

- 1 将来を見据えた学校園所の配置検討のスタート
- 2 教育環境ハード整備（中学校屋内運動場空調整備） 2校
- 3 部活動地域クラブの新規支援団体 2団体
- 4 不登校児童生徒支援員の増員 2人（計7人を目標）
- 5 スポーツ大会参加者数 4.5千人以上
- 6 文化財保存関係団体の活動の支援 15団体以上
- 7 給食食材地元産使用率 30%以上  
有機農産物使用率 5%以上

## 7 前年度の経営目標及び実績

### 【柱①市民】

- ・小規模特認校の区域外からの就学児童数 17人以上//17人（達成）
- ・「養父市教育のあり方検討委員会」答申に基づく実施計画の事業推進//推進中
- ・学校に行くことが楽しいと感じる児童生徒の割合 85%以上//83.6%（未達成）
- ・時間外勤務 △3%削減（対前年比）//△8.7%（達成）
- ・職員の健康管理 年次休暇取得日数 1人10日/年以上//11.4%（達成）
- ・スポーツ施設利用者数 135千人以上（教育部所管分）//126千人（見込み）
- ・スポーツ大会参加者数 3.5千人以上//4.7千人（達成）
- ・文化財保存関係団体の活動の支援 15団体以上//15団体（達成）

### 【柱②地域】

- ・待機児童数（こども園、保育所）：0人//0人（達成）
- ・この地域で子育てをしていきたい親の割合  
（公立こども園及び保育所利用者の満足度）95%以上//97.1%（達成）
- ・学校給食での市内産野菜等の使用率 35%以上//27.5%（見込み）

### 【柱③公共】

- ・若者未来応援奨学生のUターン数：30人以上//32人（達成）
- ・若者未来応援奨学生の応募者数：5人以上//4人（未達成）
- ・二十歳のつどい参加率：83%以上//85.3%（達成）